

◇ 学 習 指 導 案 に つ い て ◇

この学習指導案は、各教科等の特性により形式や内容に若干違いはありますが、基本的には以下のようになっています。

御覧になる際には、下記のことを参考にしてください。

〇〇科学習指導案，または略案

〇年〇組 〇〇名 指導者 〇 〇 〇 〇

リード文…今回の授業で、検証したいことについて述べてあります。

1 単 元（題 材） 〇〇〇〇

2 目 標

※ 本単元（題材）で身に付けさせたいことを指導目標として述べてあります。

3 単元（題材）の評価規準

- ～に関心をもち、～意欲的に調べることを通して、～しようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ～について考え、～している。 【思考・判断・表現】
- ～を活用するとともに、～することができる。 【技能】
- ～を理解している。 【知識・理解】

※ 単元（目標）を分析して、子どもの姿で述べてあります。

※ 評価規準の観点は4観点を基本としていますが、教科等によって異なります。

4 単元（題材）について

(1) 単元（題材）の価値

※ 単元（題材）設定の意義や教材観について述べてあります。

(2) 子どもの実態と指導

※ 本単元（題材）にかかわる内容について子どもの実態を明らかにし、共感的な子ども理解という場から、子どもをどのようにとらえているかを述べてあります。

※ 単元（題材）の価値や実態を踏まえながら、効果的な集団での学びを設定し、学習過程の在り方や一人一人の思考を深める手立ての工夫を中心に述べてあります。

5 指導計画（総時数〇時間）

過程	主 な 学 習 活 動 【 評 価 規 準 】	時間
見つける	4 水の一部分を熱して、温まり方を調べる。 【関：水や空気の温まり方に興味をもち、進んで調べようとしている。】 ～することで、～できるよう（もてるように）にする。 	1 (本時)

※ 学習活動に対しての手立てを述べます。

6 本 時（第○次の○／○）

(1) 目 標

※ 単元（題材）の目標や評価規準をもとに、指導目標を述べてあります。

(2) 評価規準

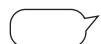
※ 指導計画の本時に位置付けてある評価規準を述べてあります。これが本時で重点的に評価し指導していく内容になります。

(3) 指導に当たって

※ 活動の流れに沿って、どのような指導を行っていくかを述べてあります。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識



指導の手立て

※評価

過程	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等
追究する	20	グループで みんなで	4 実験をする。 ・下を熱したら、上から徐々に色が変わっていったね。 ・上を熱したら、その部分は色が変わったけど、下の部分は変わらなかったね。 一人一人役割をきめることで、実験への意欲とグループ内での有用感をもたせるようにする。 熱する場所を変えることで、水のあたためり方の普遍的なきまりに気付くことができるようにする。 ※ 水や空気の温まり方に興味もち、進んで調べようとしている。 (発表・ワークシート) ○ 達成している子どもには… ○ 達成していない子どもには…	ワークシート

※ 「形態」：一人で・ペアで・グループで・みんなで

※ 「教材等」：学習計画表・ワークシート・活用する教材

※ 「太線吹き出し」 : 子どもと進める授業のための手立てが述べてあります。

※ 「実線吹き出し」 : 評価規準に対して、子どもへの具体的な手立てを述べてあります。

※ 学習活動における評価は※で表しています。また、評価の見取り方を、（ノート），（発表），（作品），（ワークシート）など具体的な方法で示しています。 には、評価規準を見取った後の指導について述べてあります。

※ 本時の終末には、 で、学習のまとめを示しています。